

第26回企画展のみどころ

「描」



薩摩国府跡出土の戯画土器

縄文時代から明治までの文様や絵画が描かれている土器や石器等を展示します。特に注目されるのが薩摩国府推定地で発見された墨書戯画土器です。墨で人物像が描かれており、当時の文化を知る貴重な資料です。また、都城市の肱穴洞穴で発見された弥生時代の絵画石斧も必見です。

「書」

主に奈良・平安時代の文字の書かれた土器などを展示します。今回は、国分高校書道部の生徒の皆さんの協力を得て、墨書土器の文字を分かりやすく楷書で書いてもらいました。展示で注目されるのは、草仮名が墨で記された平安時代の土器です。これは、大隅国府跡の推定区画内の気色の杜で発見されたもので、草仮名で文字が記された墨書土器としては九州初出土であり、全国でも珍しい資料です。



草仮名の墨書土器
(気色の杜遺跡出土)

所蔵：霧島市教育委員会



告知

諸田刀祢等

勅取

□

田

二反

九条三里一曾

□

□

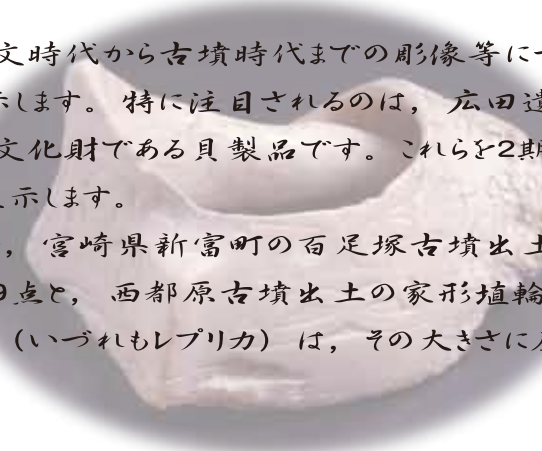
木筒

(京田遺跡出土)

「像」

縄文時代から古墳時代までの彫像等について展示します。特に注目されるのは、広田遺跡の重要文化財である貝製品です。これらを2期に分けて展示します。

また、宮崎県新富町の百足塚古墳出土の形象埴輪9点と、西都原古墳出土の家形埴輪・船形埴輪（いずれもレプリカ）は、その大きさに圧倒されます。



貝輪

(広田遺跡出土)

所蔵：歴史資料センター黎明館



器を捧げ持つ女性
(百足塚古墳出土)

所蔵：新富町教育委員会

企画展講演会のお知らせ

日時：平成22年2月13日(土)

午後1時30分～午後3時まで

場所：展示館1階多目的ルーム

講師：ラ・サール学園 永山 修一 先生

*聴講無料

ワークショップ①

1文字はんこ作り体験

日時：平成21年12月13日(日)

平成22年 1月24日(日)

10:30～、14:30～

定員：各回15名

料金：無料(有料入館者対象)

ワークショップ②

色つき紙粘土でメモスタンド作り体験

日時：平成22年2月21日(日)

平成22年3月14日(日)

10:30～、14:30～

定員：各回20名

料金：無料(有料入館者
小学生以下対象)

